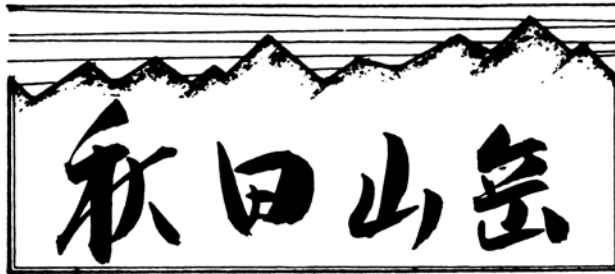


2018



平成30年6月 発行

No. 107

公益社団法人 日本山岳会秋田支部

秋田市泉菅野
1-2-14 鈴木方

TEL・FAX018(823)2708

発行 秋田支部
編集 鈴木裕子

平成30年度 秋田支部総会

新支部長に鈴木裕子氏を選任 副支部長に佐藤和志氏を選任・堀井弘氏は留任

平成三十年度秋田支部総会は、四月七日午前十一時から、秋田市の「協働大町ビル」において開催された。

会場には長岩名誉顧問寄贈の横断幕が張られ、披露された。

総会に先立ち、昨年七月逝去した北林嘉鶴子顧問へ黙祷を捧げた。

総会は、鈴木（裕）副支部長の進行で、会員総数五十五名、出席会員二十四名、委任状提出会員二十三名を確認。

はじめに、今野支部長から支部運営への協力に感謝する旨の挨拶があった。

続いて、三浦眞六委員を議長に指名して、案件の審議が行われた。

案件一 平成二十九年度の事業について鈴木（裕）副支部長が報告。

春の支部山行は東鳥海山、秋は甚吉森へ。また、公益的事業として泉自然保護課登山道整備に協力、太平山丸舞登山道や不帰ノ滝への歩道整備、秋田駒ヶ岳の歩道整備、森吉山の植樹活動に協力したことや、太平山中岳周辺や歩道の一部の刈り払いや太平山山開き市民登山への協力を行った等。

二十九年度の声かけ山行は若手県の子牛形山であった。

広報活動として、会報の発行は三回、支部だよりを七回、秋田支部のご案内等を発行。

支部長会議、支部担当者会議、全国支部懇談会、本会年次晩餐会出席等の報告。

また、新年会を再開し、会員同士の交流を図ったこと。

案件二 平成二十九年度収支決算について、石川会計担当委員が報告。高橋会計監事から、四月二日、秋田市のアルヴェ市民交流室において行われた会計監査の結果、関係書類が適正に処理されていることが報告され、事業及び決算は承認された。

案件三 三十年度事業として、春の支部山行は、故安藤名誉顧問の追悼登山とし、東光山へ。六月には、宮城・若手・秋田三支部合同登山が栗駒山で行われること、全国支部懇談会（北海道、東北、北海道地区集会（山形）の説明があった。多くの会員の参加を期待したい。

平成三十一年度に支部設立六十周年を迎える事から、記念事業の前倒しとして六十座ラリーを行うとのこと。

会報の発行は三回を予定。支部だよりは随時の発行。

県内各山岳団体との交流、秋田県自然保護課の登山道等整備事業への協力等が説明された。

また、三十一年度は、支部設立六十周年を迎える。四十周年、五十周年の記念行事を参考にして検討を始めたい。

案件四 平成三十年度予算案について石川会計担当委員から説明。事業計画、予算案ともに承認された。

案件五 役員改選については、会員交代で務めたいと昨年度からお願いで

いたが、自薦、他薦も無く、役員会で検討したが、二転三転し、ようやく総会に提案する案となったことの説明があった。今野支部長の退任の挨拶に続き、鈴木新支部長から来年度、支部設立六十周年に向けて、これまで以上に支部運営にご協力をお願いする旨の就任の挨拶があり、続いて新役員全員の自己紹介が行われた。

新副支部長に就任した佐藤和志氏は就任挨拶の中で、秋田駒ヶ岳が「十和田・八幡平国立公園」に所属していることから「十和田」を切り離し、「南八幡平国立公園」とする希望案がある中で、山の会等に出席する機会があったら、その旨を発言してほしいとの要望があった。

議事終了後、その他として、本会へ報告する登山届が話題となり、重要性は認めるが、全ての山行に当てはめるのはどうかとの意見もあった。



長岩名誉顧問から寄贈された横断幕の前で記念撮影

その登山届けに関連して、元会員の川島由夫氏の遭難等も併せて今野支部長から報告があった。

総会終了後の懇親会は、佐藤和志新副支部長の挨拶に続いて、長い間会計監事として勤められ、今回勇退した、高橋忠雄氏の乾杯の発声で始まった。

懇親会は、山情報の交換、お互いの活動状況等、久しぶりに会う方々、初めて総会に出席した方もおり、会員相互の交流を深め、午後三時三十分頃、堀井弘副支部長の「ホームニカ演奏により、「ふるさと」の全員合唱と、お開きの乾杯で散会した。

総会・懇親会共、会員の活発な意見交換、話題にあふれ、有意義な会であった。

御芳志 厚くお礼申し上げます。

八千円 進藤 昭
五千円 長岩嘉悦 佐々木民秀
今野昌雄 鈴木要三

清 酒 鈴木裕子
左藤和志 今野昌雄
佐藤 博 佐々木長秀
安藤金栄

出席者

佐々木民秀 奥村清明 福田光子
佐藤和志 今野昌雄 柳田勇悦
若月 寿 鈴木裕子 堀井 弘
鎌田倫夫 高橋忠雄 川口廣志
大橋忠雄 石川祐子 柴田 勸
三浦眞六 長岡幸則 佐々木長秀
安藤金栄 熊谷光子 後藤浩二
藤田正義 佐藤英實 佐藤広文

(事務局長 鎌田倫夫 報告)

秋田支部新役員

名誉顧問 保坂隆司 進藤 昭

顧問 佐々木民秀 佐藤昭義

支部長 鈴木裕子

副支部長 佐藤和志 堀井 弘

事務局長 鎌田倫夫

会計担当 石川祐子

委員 佐藤 博 川口廣志

三浦眞六 佐々木長秀

安藤金栄 熊谷光子

後藤浩二 藤田正義

会計監事 柴田勸 大橋忠雄

沼田敏明会員

「日本百名山」を登頂

沼田敏明会員は、二〇〇五年十一月三十日、伯耆大山に登り、「深田久弥の日本百名山」を登り終えました。

沼田会員には、事務局での情報収集が遅れ、掲載が今回になりましたことをお詫び申し上げます。

就任のご挨拶 七代目秋田支部長として

支部長 鈴木裕子



平成三十年定期総会において、今野昌雄氏の後を引き継いで私が支部長に推薦され、引き受けることになりました。支部組織における運営の重大さと、その責任の重さを身に染みて感じているところであります。

荒巻廣政、柴田均二、岡田光行、佐藤兼治、佐々木民秀、今野昌雄の各氏著名な方々の後の就任で、私のような者がと戸惑っております。

これまで諸先輩が築いてきた長い歴史と伝統のある秋田支部の体面を汚すことなく、これまでの諸活動を踏まえ、支部事務局を担当していた経験を活かしながら、公益社団法人日本山岳会秋田支部長として微力ながらも会運営に邁進して行く所存であります。

幸いにも、山歴豊かな素晴らしい支部会員をはじめ、実力のある役員の方々がおりますので、その方々のお力添えを得、また、今野昌雄前支部長、佐々木民秀支部顧問始め、先輩会員にご相談し、ご指導をお願いすることもあろうかと思いますが、よろしくお願

い申し上げます。当支部は、来年度は設立六十周年を迎えます。六十周年記念事業の一つとして「六〇座ラー」は今年度から始まります。今年度の役員会で六十周年記念事業の協議を行い、設立会員始め、先輩会員に喜んでいただける記念行事にしたいと思っています。

私は、支部の活性化は、会員の多くの方々が支部行事に参加することだと思っています。総会始め、春秋の支部山行、新年会、そして公益的事業の太平洋市民登山や歩道整備等があります。

また、日本山岳会会員であることで参加出来る、全国支部懇談会、東北・北海道地区集会、そして年次晩餐会、晩餐会記念山行があります。本会山行委員会が計画する大きな山へも登ることが出来ます。それらの集会に参加して、他支部の方々と交流を深めることが、支部の活性化に繋がると思っています。

最後になりましたが、支部の高齢化、会員の平均年齢の高さ等の問題を含みながらも、秋田支部で出来ること、身の丈、身の中に合った事業を精一杯頑張つて参ります。

会員の皆様からの支部運営にご協力を頂きながら、一層の支部活性化を目指すことを申し上げます、就任の挨拶と致します。

退任のご挨拶

前支部長 今野昌雄



の場にもなっています。

支部高齢化のもと、頼もしい現役二名を含む四名の入会があり、この入会が会員増のきっかけになればと期待している所です。本事務局作成の「日本山岳会秋田支部のご案内」のチラシは本部で行われた支部代表者会議の席でも入会募集の参考になると好評でした。

支部会報の他に、新たに二十八年から「支部だより」が発行され、支部員の活動や会報に載らない情報にも接しています。

本部主催の宮城県での指導者講習会には三名出席、新情報や技術を学び支部活性化に努めています。

公益関係では、従来からの太平洋山歩道整備、市民登山への支援等が行われてきました。

「山の目」については、支部会員は各自の「所属組織での山の日行事等」に参加できるようにあけております。

山の日施行の初年度、佐々木民秀顧問の県スポーツ功労賞受賞は、長年の登山の普及の実績によるものであり、支部にとっても嬉しなことでした。

韓国・台湾等への海外交流登山は残念ながらもありません、この間、支部会員の悲しい別れもありました。

支部事業ではないが、平成二十六年九月に千葉支部の川島由夫さん(秋田市出身)の羽後朝日岳方面で行方不明の知らせが飛び込んできました。雪の

降る前に発見したいと支部有志や他の山岳関係者と捜索。何とか見つけたとの思いで、たびたび出かけ、沢や尾根を探したが手掛かりを得ることはできませんでした。昨年五月(三年後)、全く予想外の場所である本人のザック、雨衣が山菜取りによって発見され、警察に届けられたカメラにはザックの近くの小さな滝の写真が二枚だけ写っていました。ご遺体は確認されませんが、遺品は仙北警察署を通じて遺族に引き渡されました。昨年九月には、有志でケルンを築き花や果物を供え、ご冥福を祈りました。今年も四年目ですが、先日ザックを発見した方や現場に行つた警察官に会い、話を聞いてやつと一区切りつきました。

この四月からは、鈴木裕子新支部長のもと、堀井弘副支部長、佐藤和志新副支部長、鎌田倫夫新事務局長が一体となり、支部の益々の発展と活性化に取り組みものと期待いたしております。本支部会員、東北・北海道支部、全国支部長、本部役員等の皆様ありがとうございました。

支部会員執筆紹介

「太平洋5000日」

奥村 清明

平成三十年二月発行

無明舎出版

A5版 一六〇〇円(税別)

秋田支部自然保護委員 堀井弘副支部長の 活動の一部を紹介

◎太平洋山自然学習センター、東北森林管理局等が主催する登山やハイキング、自然観察をサポーター等。

五月二十一日 太平洋前岳登山 サポーター 一般参加者二十名

六月十七日 仁別妙見山親子登山 サポート

一般と子供の参加者二十六名

六月二十二日 仁別の自然観察 ボランティア。参加者 市立港北小学校 五年生一〇〇名

八月六日 秋田市港北地区体協鳥海山七合目への登山サポート

一般参加者二十名

九月二十三日 仁別妙見山親子登山 サポート 一般と子供の参加者二十四名

十一月四日 井川町教育委員会

仁別妙見山トレッキングサポート

町民高齢者二十五名

仁別国民の森、仁別植物園での説明ボランティア等多数回、

※支部会員で地域の自然観察会や地域の山行事に協力しておられる方は事務局までお知らせください。

支部の公益的事業として評価されます。

春の支部山行
新緑の東光山 川口廣志

春の支部山行は、五月十九日(土)に予定されていたが、前日の十八日、秋田県内全域での記録的な大雨に見舞われ、変更された。

前日の十九日に佐藤博委員が道路の被害状況を確認し、問題がないとのことで、一日遅れの二十日(日)に実施された。予定変更のため参加できなかった会員が出たことは大変残念であった。

八時に御所野シルバーエリアに集合した十三名は五台の車に分乗して出発。道の駅「おおうち」に再集合して合流し、赤田集落を経由して、赤田川沿いの車道から滝の上林道に入り、二分する林道を右の小橋を渡って進む。大雨の影響は道路を横切って土砂が流れた跡があるが、走行には差し支えない。七百m位進むと堤防堰堤があり、ここが終点で、登山口となる。五台ほどの駐車スペースもある。

鈴木支部長から、本日は、平成十二年七月の支部山行の時に案内していただき、昨年四月に物故された安藤武俊名誉顧問を思い出しながら登っていたきたいとの挨拶があった。

恒例のバナナをいただき、新緑の中を歩き始めるとすぐ、一合目の賽ノ河原で、ヒメシヤガが咲いている。道はよく整備されて、適度な登りで、二合目鳥居の台、三合目の清水泉流ノ滝は伏流水となって流れ落ちていて、良い水場となっている。

四合目は薬師如来、五合目は毘沙門堂と参籠所と石仏等が点在して、毘沙門泰寛大和尚が修行した霊場としての清浄な雰囲気包まれている。毘沙門堂内陣には、立派な毘沙門天像が鎮座していた。

朽ち果てようとしている参籠所の裏側から急な登りとなる。六合目に千餅倉の大岩があり、すぐその先に鉄パイプの手すりが設置されていて、急斜面であるが歩きやすい。七合目仏洞山分岐に着くと、先着組はタケノコ採りをしていた。

休憩後、緩やかな稜線を、八合目黒森遥拝所、九合目拝水を過ぎると社殿の建つ東光山山頂に着いた。

今日は素晴らしい快晴で、雪を頂いた鳥海山が神々しく裾野を広げている。



東光山 山頂

記念写真撮影後、ここから笹森山に八名が発券する。鞍部までの下りは急斜面で滑りやすい。注意しながら鞍部に出ると、雑木林の尾根を登り、一等三角点のある頂上は藪の中。すぐ、往路を引き帰す。山菜取りを楽しむ人もいた。

さわやかな風の吹く場所と、社殿内と分散しての昼食。故安藤名誉顧問の豪快な思い出話をする会員もいた。

十三時、下山。七合目仏洞山分岐から、赤田五山のうちの三山目への踏み跡をたどり、仏洞山山頂を往復後、登山口に無事下山。解散となった。

参加者 鈴木裕子 福田光子 佐藤博

柳田勇悦 鎌田倫夫 石川祐子

柴田勸 藤田正義 熊谷光子

川口廣志

会員外 柳田ルイ子 永田一秀

鈴木るみ子

会務報告

◎事務局会議

二月二十一日(水) 午後一時から泉コミセン会議室で開催。
・山岳調査事業について これまでの経緯の確認

出席者 今野昌雄 鈴木裕子 堀井弘
鎌田倫夫 石川祐子

◎事務局会議

二月二十六日(月) 午後一時から秋田市民サビスセンターで開催。
・山岳調査について 調査方法や契約

等について説明を受け、協議したが、山岳調査員を専任し、多量の事務を処理し、電磁媒体で完成品を作り上げることは支部の現在の状況からして困難なことから辞退することにし、役員会で報告し、了解を得ることとした。

出席者 今野昌雄 鈴木裕子 堀井弘
鎌田倫夫 石川祐子 歩仁内昌樹

◎第四回役員会

三月二十三日(金)午後一時から泉コミセンで開催。
・役員改選について 佐藤和志会員が副支部長を承諾したことの報告。
・総会に提出する支部役員の仕事分担について

・山岳調査事業の辞退報告。
・長岩名誉顧問寄贈の横断幕披露。

出席者 今野昌雄 鈴木裕子 堀井弘
鎌田倫夫 石川祐子 佐藤博

三浦真六 安藤金栄

◎会計監査

四月二日(月)、午後一時三十分から秋田市アルヴェ市市民交流室で開催。
二十九年会計決算の監査を実施。

出席者 高橋忠雄 柴田勸 石川祐子
鈴木裕子 鎌田倫夫

事務報告

◎二月十九日(月)総会のご案内発送。
◎四月十二日(木)総会資料、会費納入のお願い、「支部だより10号」発送。